

総会

提案、啓蒙を積極的の実施

泥土リサイクル協

泥土リサイクル協会（木村孟理事長）は8日、名古屋



屋市内で総会を開いた。木村理事長「写真」は、「建設汚泥リサイクルの分野が低迷しているが、今後

リニアやオリンピックなど大型事業が行われていく中で、建設汚泥や石ころボンドなどの有効利用が求められている。今こそ、提案、啓蒙（けいもう）を積極的に行っていただきたい」とあいさつした。

地震復興・復旧に向けた支援事業や汚泥を適正に処理するための指導者育成などを実施する事業計画案や収支予算案などが承認された。また当日は、国土交通省の環境・リサイクル企画室の土肥学課長補による「今後の建設副産物リサイクルの動向について」と題した基調講演が行われた後、京都大学大学院の勝見武教授の提言説明があった。